

情報検定（ITパスポート）

文京学院大学

ガイダンス

2017年度

本日のアジェンダ

1. この授業について
2. 授業の進め方と成績評価について
3. 第1回講義（経営組織論～OR・IE）

1. この授業について

コンピュータ検定（ITパスポート）

- 目的

- 国家試験「ITパスポート試験」の合格
- 現代社会人に求められる基礎知識の習得

- 難易度（単位の取りやすさ）

- 毎回 7 割弱の人が単位を取得

- 履修について

- 年間で4コマ実施、すべて同じ内容
- 前期に単位を取得した場合、後期の受講は不可

資格の内容

- ITに関する様々な知識を公的に証明する国家資格
- 主に就職活動での利用が多いが、資格取得後の満足度も高く、近年企業から注目されている
- 平均学習時間や資格の有用度から大学生に人気が高く、合格率50%弱と、国家資格としてはハードルが低い
- 参考URL：
 - 仕事で使える資格は何か～資格ランキング2015
 - <http://goo.gl/UXCZl1>
 - 学生時代に取っておきたい！就活時にアピールできるおすすめの6資格
 - <http://goo.gl/IF1fy8>
 - 就活に使える資格一覧！
 - <http://goo.gl/Grr3di>

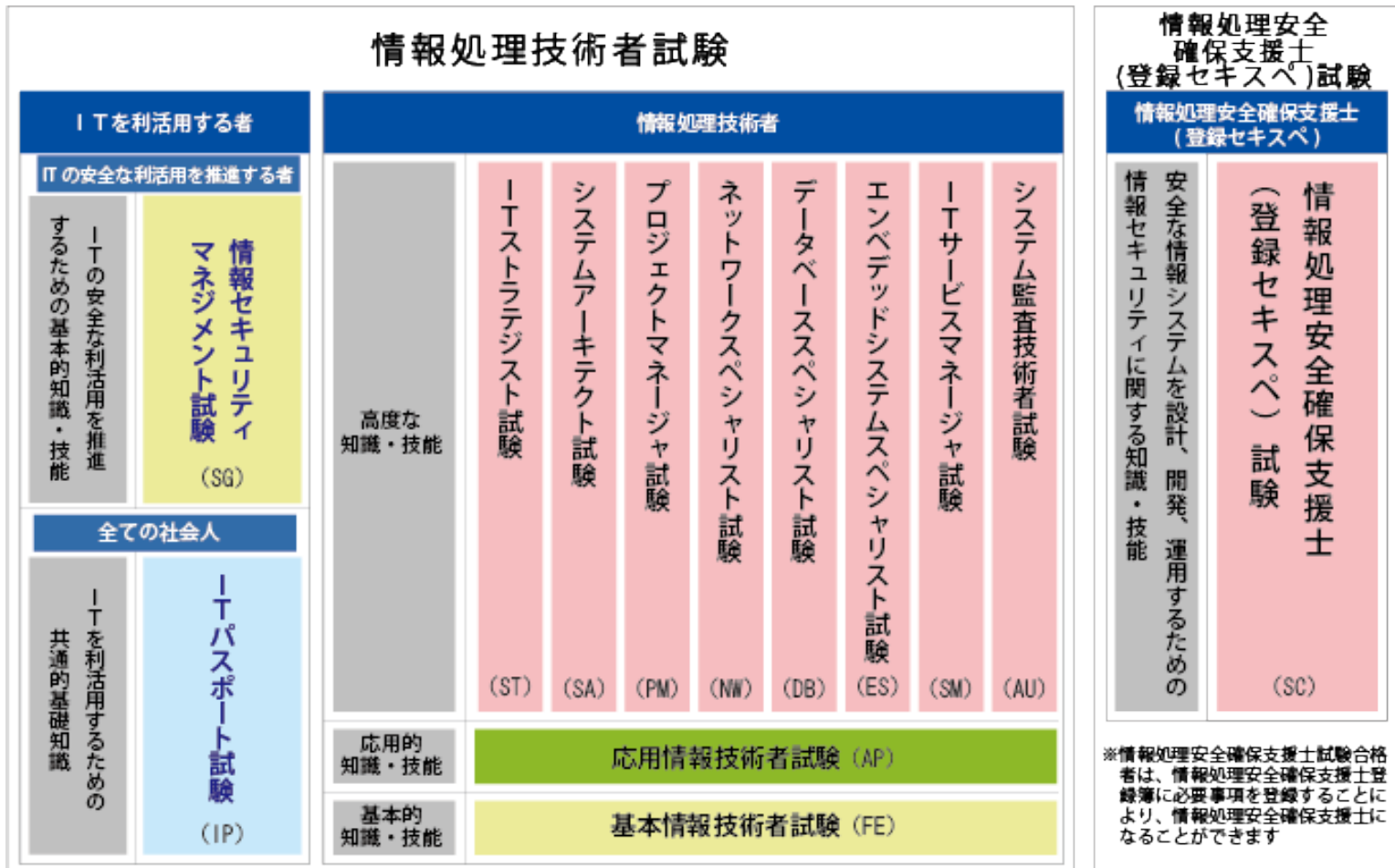
ランキングにみる資格の三本柱

- 語学力
 - TOEIC、TOEFL、中国語検定など
- 情報能力（IT能力）
 - ITパスポート試験、MOSなど
- ビジネス能力
 - ビジネス実務法務、秘書検定、日商簿記など

ITパスポート（iパス）とは

- 特徴
 - 国家試験
 - ITに関する基礎的知識が証明可能
 - 情報化社会で働くすべての社会人が対象
- 実績
 - 2009年の開始以降、累計応募者数69万人以上
 - 活用企業、省庁、大学多数（試験センターWebページ参照）
- 試験名の由来
 - IT化が進んだ現代社会に羽ばたくために社会人として必要な基礎的能力を有していることを国が証明する試験（パスポート）

ITパスポート試験の位置づけ



試験内容

試験時間	120分（2時間）
出題数	小問：100問
出題形式	四肢択一式 CBT（Computer Based Testing）方式
出題分野	ストラテジ系（経営全般）：35問程度 マネジメント系（IT管理）：20問程度 テクノロジー系（IT技術）：45問程度
合格基準	総合評価点、分野別得点のすべてが次の基準を満たすこと ＜総合評価点＞ 600点以上／1,000点（総合評価点の満点） ＜分野別評価点＞ ストラテジ系 300点以上／1000点（分野別評価点の満点） マネジメント系 300点以上／1000点（分野別評価点の満点） テクノロジー系 300点以上／1000点（分野別評価点の満点）
採点方式	IRT（項目応答理論）に基づいて解答結果から評価点を算出

出題範囲

分野	大分類		中分類	
ストラテジ系	1	企業と法務	1	企業活動
			2	法務
	2	経営戦略	3	経営戦略マネジメント
			4	技術戦略マネジメント
			5	ビジネスインダストリ
	3	システム戦略	6	システム戦略
			7	システム企画
マネジメント系	4	開発技術	8	システム開発技術
			9	ソフトウェア開発管理技術
	5	プロジェクトマネジメント	10	プロジェクトマネジメント
			11	サービスマネジメント
	6	サービスマネジメント	12	システム監査
			13	基礎理論
テクノロジー系	7	基礎理論	14	アルゴリズムとプログラミング
			15	コンピュータ構成要素
	8	コンピュータシステム	16	システム構成要素
			17	ソフトウェア
			18	ハードウェア
			19	ヒューマンインタフェース
	9	技術要素	20	マルチメディア
			21	データベース
			22	ネットワーク
			23	セキュリティ

試験日時、試験会場、試験方式

- 試験日時
 - 受験者の都合で土日や夜間を含め試験日時を選択できる
 - 申込みの翌日に受験ができる
 - 試験予定日の7日前まで試験日の変更ができる
- 試験会場
 - 受験者の都合で試験会場を選択できる
- 試験方式
 - CBT (Computer Based Testing) 方式
 - 画面に表示された問題をマウスやキーボードなどを用いて解答する
 - 試験結果がすぐわかる

試験情報

合格率	約50% (iパスWebページにて公開されています)
平均学習時間	約150時間
勉強方法	専門用語の理解と記憶 数的思考力の訓練 (計算、論理) 過去問演習
ホームページ	http://www.jitec.ipa.go.jp/
携帯ホームページ	http://www.jitec.ipa.go.jp/k/
iパス専用ホームページ	https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html
試験の難易度	普通

2. 授業の進め方と成績評価について

教材、復習方法

- 使用教材
 - 画面集（毎回配布します）
 - PDFデータも以下のWebページにて配布しています
 - <http://www.mnhr.net/>
 - 参考書
 - ITパスポート試験 対策テキスト & 過去問題集
平成28–29年度版（FOM出版）
- 復習について（必須）
 - 1回の講義につき2時間～5時間（個人差あり）
 - 専門用語の記憶と、過去問演習
 - 過去の受講者は、ほぼ全員が復習不足を後悔しています

成績評価、

- 中間試験・定期試験・その他の合計点で評価
 - 中間試験 50点（ストラテジ系/マネジメント系）
 - 定期試験 50点（ITパスポート試験の全範囲）
 - 2/3以上の出席が定期試験受験のための条件
 - その他 20点（出席カードへの記述内容）
- 評価基準

90点以上：AA	80点～89点：A
70点～79点：B	60点～69点：C
- 国家試験に合格した場合、無条件で AA

講義にあたって

- 専門学校でのITパスポート試験対策講座
3時間 × 12回 = 36時間
- 企業の新卒研修でのITパスポート試験対策
7時間 × 5日 = 35時間
- 文京学院大学の半期の授業
1.5時間 × 15回 = 22.5時間
※ 中間テストを除くと正味20時間程度
授業では問題演習などを割愛し同範囲を扱います